

みやぎ生活協同組合



代表理事 理事長
齋藤 昭子 氏

●企業の概要

企業名：みやぎ生活協同組合

代表者：代表理事 理事長 齋藤 昭子

住所：仙台市泉区八乙女四丁目2番地の2

設立年：昭和57年

業種：食料品等小売業

出資金：22,196百万円

従業員数：6,841名

●事業の概要

昭和57年に、宮城県学校生協（昭和27年設立）と宮城県民生協（昭和45年設立）の2つの協同組合が合併し設立された協同組合。現在、宮城県内に46店舗を有し、生鮮食品・食品・日用雑貨・衣料品等の店舗販売や宅配サービス、暮らしに便利な各種サービスを提供。宮城県民の生活インフラを支える重要な役割を担う。

東日本大震災において、被災直後から物資の提供や被災者支援を行い、貢献大。



新本部棟



「みやぎ生協」店舗

永年にわたり安全・安心な食品を提供し、全国生協の中で組合員加入率1位を誇る協同組合、崇高な理念をもつ協同組合として宮城県的生活インフラを支え、地域経済の活性化に大きく貢献



めぐみ野菜市場



食のみやぎ復興ネットワークのプロジェクトで開発された「希望のなの花はちみつ飴」



リサイクルセンター



震災直後の商品販売の様子

●受賞の理由

「わたしたちは、協同の力で、人間らしい暮らしを創造し、平和で持続可能な社会を実現します」の理念のもと、宮城県内で事業を展開。組合員数は約64万人（宮城県世帯の組合員加入率7割）を数え、全国の生協の中で加入率一位。宮城県民の豊かな生活の実現のために欠かすことのできない存在で、流通を通して生活インフラを支えてきた功績は、非常に高く評価される。

当生協は、常に安全・安心な食品を消費者である組合員に提供するため、安全管理の自主基準を設定して遵守するほか、食中毒の原因になる微生物検査・残留農薬検査・放射線物質検査等の各種検査や食品加工施設や売場等の衛生管理を継続的に実施。また、県内1次産業の活性化と、安全・安心な食品を組合員に提供することを目的に、「地産地消」に取り組み、生産者・生産地・生産方法が明確な野菜・肉・卵等の商品を、当生協ブランド「めぐみ野」として販売。「顔と暮らしの見える産直」として組合員から高い評価を受けている。

環境問題に対しても積極的に取り組み、平成11年にISO14001（環境マネジメントシステム）を全事業所で取得した他、平成18年にリサイクルセンターを稼働。また、牛乳パックやアルミ缶の回収等をいち早く取り入れ、環境負荷を低減し自然との共生を常に図っている。

東日本大震災においては、当生協の施設が甚大な被害を受けた中、地震発生直後から営業可能な27店舗が直ちに営業を開始して被災者に商品供給を開始。また震災当日に亘理町からの要請に基づきパンと水を届けたことを皮切りに、数週間にわたり定期的に仙台市・石巻市に食料を送り続けた。更にその他市町村に対してもいち早く支援物資を提供する等、県内の生活インフラを早急に復旧するための多くの支援活動は極めて高く評価できる。

永年にわたり宮城県民の生活インフラを支え、加えて地域の雇用を創出する等、地域経済の活性化に大きく貢献した他、震災後の支援活動への取り組みは高く評価される。崇高な理念をもつ協同組合として、宮城県の復興・地域経済の発展とともに更なる飛躍が期待できる。